

# 「ダスキヤッチ」 グローイング

## サイクロン方式で産廃が無い濾過へ

工作機械の周辺機器を製造販売するグローイングが開発した、小型サイクロン式濾過装置「ダスキヤッチ」が注目を集めている。

加工液の濾過装置に関して、フィルタを使用しないサイクロン方式は従来から使われてきた技術だが、「ダスキヤッチ」が従来品と異なるのは、そのコンパクトさ。新開発の特



新型機も開発中である

で、これまでよりも格段の小型化に成功している。

サイクロン方式にはその構造上、機構の中に水流が流れない「激流の勢いが良くなり「

み層」をほぼ無くすことに成功。目詰まりも無くなり長期間に渡りメンテナンスが不要になった。

サイクロン式掃除機から開発ヒントを得たという渡辺秀一社長は「『ダスキヤッチ』は、フィルタが無いので『産廃レス』。また、フィルタレス、メンテナンスフリーなので、ラニングコスト面でも優れていると思う。どうしてもしもフィルタが要るほどの

「地」的。自分の知識・技術のレベルが確認できない。う。

## 切削加工現場に「地図」登場

切削加工に関し、「地聞社・9月刊」である。門書に終っていない。

知識として解説を進めている。終章では切削加工の経済性にまで言及して、単なる入門書に終っていない。

「地図」的。自分の知識・技術のレベルが確認できない。う。

自分の知識・技術のレベルが確認できない。う。

自分の知識・技術のレベルが確認できない。う。

## 大手自動車メーカーで試験採用へ MECT東陽ブースに出品予定

精密濾過が必須な現場でも、詰まりが殆ど見られないという。「ダスキヤッチ」は、今年3月に開かれた「東陽ワンマンショー」で初めて公開され、以降、来場者を中心に多数の問い合わせを受けているという。すでに大手自動車メーカーからの試験採用のオファーが来ている。年内にはテストがスタートする見込み。

実際、同社が試験運用を依頼したユーザーでは、従来は300時間間で交換していたワイヤーカット機向けの精密フィルタが、90時間が、90時間を超えるという。目今でも、目